

会行事「立花山の樹名板の仕上げ作業」

10月7日に参加者10名で、試行錯誤しつつ作成した91枚の樹名板の仕上げを行いました。場所は前回と同じく四王寺県民の森センターですが、今回は外のピロティで行いました。

まずは、樹名板にインストラクター会と福岡森林管理署の連名のゴム印を押します。スタッフ自作の治具を使うと、あら不思議！難しいと思っていたゴム印押しがスムーズに進みます。



スギ材の樹名板は目が粗いせい

か、文字の輪郭がぼんやりします。それに比べるとヒノキ材は滑らかで輪郭がシャープで仕上がりが美しい。木材の違いを感じつつ作業を行いました。

ゴム印押しが終わるとシュロ縄を通す穴を開け、防腐剤入りのニスを吹きかけます。乾いては吹きかけることを3回繰り返しました。



そしてニスが乾く時間を利用して、11月に行う北勢門小学校のクラフト台座の作成です。

台座用にカットし皮はぎやヤスリがけを済ませた素材が既に100枚準備され、この台座と、クリスマスツリーになるテグマツに穴を開けて竹ひごで接着します。

北勢門小学校の生徒さんたちはどんなクリスマスツリーを作るのでしょうか。楽しみですね。



と、そんなことを考えているうちに、樹名板に吹きかけたニスもすっかり乾きました。ピロティをキレイに清掃して解散し、あとは立花山での取り付けを待つばかりです。

参加者 田川 諸石 常藤 (報告)

